

平成31年1月20日開催 犬山市議会市民との意見交換会
～皆さんのご意見とその回答～

たくさんのご参加、ご意見ありがとうございました。

犬山市議会は、「犬山市議会基本条例」に基づき、市民の皆さんのご意見を市政運営に反映させていくため、「市民との意見交換会」を開催いたしました。

今回は、第1部に気象予報士 石橋武宜氏の記念講演会と、常任委員会ごとの文科会を行い、テーマについて、皆さんの声を直接伺う形で行い、講演会は150名、分科会では合計57名の方にご参加をいただきました。

各会場でいただきましたご意見(一部まとめてあります)を紹介します。



総務委員会 もっと話そう!! 防災の話

出席委員：正久世高裕、副岡村千里、鈴木伸太郎、市橋円広、矢幡秀則、中村貴文

No	市民からの意見	総務委員会の見解
1	居住者が亡くなった後に管理できず放置されている空き家があって、放火や倒壊の危険性がある。行政は文書で所有者に何とかしてよと言うだけ。議会では対応できないか。	全市的に大きな問題です。これまでの調査で市内に空き家がどれくらいあるか概ね把握はできていますので、最終的には強制執行となりますが、まずは危険度の把握をしたいと考えます。
2	5、6年前の豪雨の際、危険が迫っていることを知り合いからの電話で知った。犬山市には防災無線がないため、整備して欲しい。	整備すべきとの議員もいますが、防災無線は一部に設置するだけでも数千万円単位の費用とランニングコストがかかり、導入は難しい状況です。豪雨時、屋内で聞き取りにくいという弱点もあり、地デジでの情報発信、安心メールの普及で補いたいと考えます。
3	楽田出張所と消防団第五分団車庫が楽田ふれあいセンターへ移転すると聞いたが、状況はどうか。	楽田ふれあいセンターは利用率が非常に高く、安全確保の観点から適切でないという意見もあります。地域内で引き続き議論し、理解を得ることが必要だと考えます。
4	避難行動要支援者支援制度について、名簿に何人登録されているか、またどう活用されているのか。	平成30年4月1日時点で、要支援者の総数は1,714名、登録者数は145名です。名簿は町会長等の支援関係者に渡して年1回更新しています。大規模災害時には、登録の有無に関わらず安否確認をとるようにします。

正… 委員長 副… 副委員長

民生文教委員会 子育てするなら犬山！～みなさんの提案をお待ちしています～

出席委員：正水野正光、副玉置幸哉、山田拓司、柴田浩行、三浦知里、柴山一生

NO	市民からの意見	民生文教委員会の見解
1	ゆったりした保育をお願いしたい。未来園を統廃合していくのではなく、子どもを増やすビジョンを犬山市に持ってほしい。未来園駐車場も、設置場所や広さを考えて欲しい。	13ある未来園は築後40年前後の建物がほとんどで、毎年修繕費用などがかかることを考えると、集約統合も1つの考えです。今後、議論していきます。送迎の車が増加し、駐車場問題は喫緊の課題と認識しています。
2	犬山市の子ども未来課の人事が(他市は3年ほどで変わっていくが)あまり変わらない。	犬山市は保育士経験者が子ども・子育て監(部長クラス)の役職に就き、現場の意見を吸い上げやすくしています。また、2年前に教育部の中に子ども未来課を編入することで子どもの一貫した教育を目指しています。
3	楽田西子ども未来園の裏側の通学路に街路灯がないのはなぜか。	通学路は、各学校のPTAで毎年1回協議して通学路の要望などを出しています。現地調査をした結果、街路灯の設置が不可能な場所と判明しました。
4	福祉会館がなくなるが、児童館はどこに移設するのか。	犬山市全体で、放課後児童クラブは各小学校内に設置を進めています。犬山北小学校内に設置されます。
5	犬山市の2学期制はどうなのか。	2学期制の効果について、保護者にしっかり伝わっていない現状もあります。教育委員会は2学期制の検証を行いました。しっかり説明を行うように働きかけていきます。

建設経済委員会 どうする？犬山の産業振興 観光か、産業か、農業か！？

出席委員：正大沢秀教、副後藤幸夫、吉田鋭夫、岡覚、上村良一、堀江正栄

NO	市民からの意見	建設経済委員会の見解
1	観光 犬山市にちなんだ取り組みに力を入れていくべきだ。東宮古墳や魔鏡を活用できないか。	文化財など、犬山市の強みを生かした観光の展開を推進していきます。
2	観光 “ゆるキャラ=わんまる”をもっと盛り上げよう！市民に観光ボランティアのムーブメントを起こしたい！	郷土への愛着と誇りがおもてなしの心へとつながるよう、市政を前進させます。
3	観光+農業 グリーンツーリズムで観光に特化した農業を！犬山市では道の駅は成功しない。不毛な議論だ。	農業は従来の形だけでなく、6次産業化したり、グリーンツーリズムを目指したり、新しい成果を求める必要があります。
4	農業 農業に先が見えない。後継者がいない。	
5	工業 日本の産業は工業しかない。観光なんて国を潰してしまう例もある。心配だ。	工業も大切です。土地の有効活用による企業誘致を雇用の増大にもつなげます。
6	林業 林業者がいない。森林に手を入れなくてよいのか。行政が支援しなくてよいのか。森林環境税の有効活用を！	森林環境税の動向を注視していく必要があります。犬山市は森のまちでもあります。
7	道路整備 まず都市計画道路の完成が不可欠である。産業振興のためにもインフラ整備の早期実現を望む。	産業振興は、一つの分野だけに特化した答えを出せません。犬山は濃尾平野の縁に位置し、周辺との繋がりも重要です。
8	目先の産業よりも百年先のための議論をすべき。	